

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		